

検索

いわき労働基準協会

印刷・配布・転載は自由です

リンクはPCから開けます(スマホやタブレットでは開けない場合があります)

福島県最低賃金改定 955円 → 1,033円 (+78円)

いますぐ賃金台帳・明細をチェック！助成金を活用！効力発生年月日 令和8年1月1日

年末年始無災害運動 (2025.12.1 ~ 2026.1.15)

自身の安全・健康の確保はもちろん、周囲の仲間とも声を掛け合って、皆で力を合わせて無事に一年を締めくくり、新年を明るい笑顔でスタートできるよう、本年度の年末年始無災害運動を展開します。

令和7年度 運動標語 「『年末』感謝の総点検 『年始』も笑顔で 無事故の発進」

年末年始に実施する事項

経営トップによる安全衛生方針の決意表明

安全衛生パトロールの実施

機械設備に係る一斉検査および作業前点検の実施

年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え

年始時期の作業再開時の安全確認の徹底

年末年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示

令和7年の労働災害発生状況 (10月末現在速報値)

詳細は別掲資料参照。コロナ感染による災害件数を除きます

死亡災害2件(前年比±0) 死傷災害264件(同 2件0.8%)

ひとこと(ここがポイント！)

本年に入って初めて、前年同月比で減少に転じた

「製造業」での災害が、前年同月比で20件以上増加(47件 70件)しており、死亡災害も1件発生している

「墜落、転落」(55件 52件)及び「転倒」(66件 60件)が前年同月比で減少する一方、「はさまれ、巻き込まれ」(26件 33件)及び「動作の反動、無理な動作」(22件 24件)は増加している

STOP! 転倒災害 冬の労働災害防止キャンペーン ふくしま

準備期間：令和7年12月1日～令和7年12月14日

運動期間：令和7年12月15日～令和8年2月28日

福島県内では、毎年12月から2月にかけて、降雪や凍結、低温といった冬の気象条件に起因する冬季特有の労働災害が多発しています。雪が降り始める前から対策を行い、冬の労働災害を防止しましょう。

転倒に注意

令和6年転倒災害のうち約35%が冬季に集中して発生、2月は前年の2倍以上の転倒災害が発生している
冬季の転倒のうち50歳以上の事例が約7割を占め、冬季の転倒事例の約65%が休業1ヶ月以上

中毒災害に注意

換気の不十分な場所での石油ストーブや発電機の使用時は一酸化炭素中毒に注意

温泉関係施設等での硫化水素中毒に注意

交通事故に注意

雪道や凍結した路面での交通事故に注意

その他

雪降ろし作業での墜落・転落に注意

雪かき作業での腰痛に注意



労働基準局広報キャラクター
「たしかめたん」